

暑い季節

暑い季節となりました。皆様お元気にお過ごしでしょうか。

6月2日に始まりました6月定例会も、6月17日に閉会いたしました。市長からは15議案が提出され、すべての議案が原案どおり可決をいたしました。また、議員提出議案1件(意見書)が提出され、可決をいたしました。

市長提出議案には、「平和都市宣言」も含まれており、全会一致で可決されました。市制施行50周年を期に、改めて平和に対する尊さをかみしめて、この宣言が子々孫々まで語り継がれていくよう努めなければならないと強く感じました。

議会には議会運営委員会があります。この委員会は、主に議会が公平で円滑に運営されるように話し合いをするところですが、今定例会より、この委員会の副委員長に就任いたしました。円滑な議会運営が行えるよう一生懸命頑張ります。

暑い日が続きますが、体調を崩さぬようくれぐれもお気をつけください。



活動報告

- 4月 越谷市議会 臨時会
- 4月 北部地域バス路線研究会
- 5月 会派行政調査
- 5月 中国・ミャンマー募金活動
- 6月 越谷市議会 6月定例会
- 6月 越谷・松伏水道企業団
6月定例会



議会にて一般質問

6月定例会 細川たけしの一般質問

▷ 越谷レイクタウンにおける協働事業について

◆ 環境共生の都市づくりについて

越谷レイクタウンは環境省より「街区まるごと二酸化炭素削減事業」という認定を受けており、CO₂20%削減のまちとして多くの先進的なエコ活動が行われている。そこで越谷レイクタウンが行っている、二酸化炭素削減事業や、民間企業がもっているアイデアを活用して、全市的にエコ活動を展開するような取り組みはあるのか？

【市長答弁】本年11月には、地域のエコの象徴となるイベントとして、「仮称レイクタウンエコウィーク」を予定している。市としても、企業・市民・行政と一体となって、脱温暖化や自然保護等の取り組みを進めるとともに、その波及効果を市全体に推し進め、環境共生の都市づくりを目指していきたいと考えている。



◆ 地場産業の振興のための協働事業について

レイクタウンに建設される大型商業施設は、1日の来場者数を約5万人と見込んでおり、年間1500万人から2000万人が越谷レイクタウンに足を運ぶと聞いている。これは、越谷市をアピールするのに最高にいい機会だと考える。地場産業をさらに活性化させるためにも、様々な取り組みが可能だと思われるが、越谷市として、越谷レイクタウンを活用した地場産業の振興についてどのような考えを持っているのか？

【市長答弁】今秋、越谷レイクタウンに（仮称）イオン越谷レイクタウンショッピングセンターがオープンする。オープンにあたって地場産業の振興、市内雇用の促進、商工会との連携・協調等をイオン関係者と調整している。地場産業の振興については、イオンとの協働による物産販売イベントの開催や、越谷市の案内コーナーの設置などで、地場製品のPRに努める。今後、オープンに向け出店内容も具体化するもので、調整していきたいと考えている。

▷ 民生委員・児童委員の現状と今後の活動について

民生委員・児童委員は、身近な相談役として地域住民の方から相談を受けたり、市民の皆さんの要望を行政につなぐパイプ役として、活動されている。現在、核家族化、少子高齢化が進む中、活動内容

【市長答弁】民生委員・児童委員の活動については、地域の様々な分野でますますその役割が高まっていくものと思われる。市としても、民生委員・児童委員協議会への適切な指導・助言を行うとともに、協力し

も多岐にわたるようになり、ますます民生委員の活動の必要性が増している。しかし、近所付き合いの希薄化、そして、個人情報保護法によるプライバシー意識の高まりにより、活動しにくくなっている場面もある。今後より大きな役割を担うであろう民生委員・児童委員の活動に対し、社会事情にあった施策が必要であると考えているが、市の考えをお聞きしたい。

地域福祉の推進に努めていく。さらに、民生委員・児童委員の日々の献身的な活動やその重要な役割について、様々な形で市民へお知らせすることで、民生委員・児童委員制度やその活動についての理解を図っていく。また、個人情報を提供する場合には、一定の基準のもと、個人情報保護法の趣旨を十分踏まえ対応していく。



▷ キャベルタウン野鳥の森の今後の展望について

開園当初から比べると来場者は大きく減少している。また、平成19年度の収入は約140万円で、施設委託料が約2,750万円であると聞いている。入場料が、大人が100円で小中学生が30円と非常に安いこともあり、単純に、収入が少ないのは入場者が少ないからとはいえませんが、このリーズナブルな価格を保つのであれば、やはり入場者の増加が望まれる。今後の野鳥の森に対する展望についてどのように考えているのか？



【市長答弁】子供たちが直接手に触れられる動物を導入することや、野鳥の森に興味を抱いてもらえるようなイベントをさらに企画立案する。そして、国指定天然記念物であり、県の鳥及び市の鳥に指定されている「しらこぼと」の展示に向け準備をして



いる。今後は、たくさんの皆様が野鳥の森へ足を運んでいただけるよう、知恵を絞っていきたく考えているのでご理解を賜りたい。

一 公共施設巡り日記

一部紹介

越谷市内には、沢山の公共施設があります。それらを知ることも重要です。実際に市内の施設を視察しました。



児童館「ひまわり」



科学技術体験センター「ミラクル」



越谷市消防署



越谷市保存民家
大間野町旧中村家住宅



西大袋中層住宅



農産物直売所「とれとれの」



越谷市コミュニティプラザ



社会保険事務所

七左町中層住宅

活動日誌

会派 行政調査【5月14日～16日】



滋賀県東近江市、野洲市、守山市に行政調査に行き、先進的に行っている環境政策や障がい者施設を視察し、多くのことを学びました。

江田五月参議院議長と
細川律夫衆議院議員



地方分権の問題などを中心に、お話をお伺いしました。とても緊張しました。

募金活動



中国の四川大地震、ミャンマーのサイクロンなど大きな災害がありました。微力ではありますが募金活動を行いました。ご協力ありがとうございました。

よさこいチームで踊っています



高知県発祥の「よさこい踊り」を毎週練習しています。「鳴子」という鳴り物を持ち踊っています。楽しいですよ～。

ヨメブログ 更新中

<http://blog2.hosokawa-takeshi.com/>



細川たけしの日々の生活を、嫁が独自の視点で書いています。地元の話も満載！是非ご覧下さい。

← 4月29日の記事からよさこいの衣装にアイロンをかけるアイロンたけし

アクセスは、細川たけしwebからも

いちごんほうおん

気になる言葉シリーズ 一言芳恩

越谷市議会議員になり1年ちょっとが経ちました。これまでに本当に多くの方々に声を掛けて頂き、その声が私にとって大変励みになります。「頑張れよ！」や「しっかりな！」という叱咤激励や「大変だね」「体には気をつけて」といった、いたわりの言葉を頂きます。この“一言芳恩”は「ひとこと声をかけてもらったことを忘れずに感謝すること」という意味があるそうです。この意味を噛みしめて、今後の活動を続けていきます。

ご意見をお寄せください

市政に関するご意見お寄せ下さい

TEL/FAX 048-971-3890

E-mail info@hosokawa-takeshi.com

市政に関するご質問もお寄せ下さい

出前市政報告会も致します



細川たけし Profile

細川 威 (ほそかわ たけし) 30歳

役職：総務常任委員会、議会運営委員会副委員長、越谷・松伏水道企業団議会議員

昭和52年7月生まれ 平成19年4月越谷市議会議員選挙初当選

弥栄小学校、北陽中学校、獨協埼玉高校、東海大学工学部

北陸先端科学技術大学院大学 卒業

衆議院議員細川律夫事務所勤務を経て、現在に至る

2年目の
挑戦!

